

## 卓話『つつじが丘学園の現状と取組み』つつじが丘学園 園長 川瀬 勝敏様

### ◆会長挨拶

早や、正月1月が終えて2月に入った処です。一番寒い大寒の時季も今日迄で、明日3日は節分、明後日4日は立春を迎えます。この大寒の間、実際にも厳しい寒波が押し寄せてきまして心底凍みる日が何日もあった訳ですが、諏訪湖の方も一時全面結氷はしたものの念願の御渡りの出現は至らず、立春まで一応観察のメドが打たれるようです。

昨年11月卓話をして頂いた八剣神社の宮坂宮司さんに対しては1ヶ月に及ぶ諏訪湖の観察に心からご苦労様と申し上げたいと思います。しかしこれ程注目を浴びる観察、毎日ニュースに取り上げられ1ヶ月毎日の話題になっている、期待を一身に浴びての観察はまさに観察冥利に尽きるものかとも思うところです。今週も寒さが続くようです。皆様くれぐれもご自愛いただきたいと思ひます。

さて今日の卓話は会員増強委員会の担当です。ゲストを紹介しつづつじが丘学園園長 川瀬勝敏様です。70年以上の歴史を誇る児童擁護施設で年末には何かと寄付が寄せられて話題に上がる処ですが、子供達の養護という大変なお仕事をされている園長さんです。私の知り合いに児童擁護の1つである養育里親、つまり事情があって家庭で暮らせない子どもを預かっている夫婦がいるのですがこれにはホトホト感心している処です。自分の子供を育てるのも大変なことなのに人の子まで預かって、しかもそういう子供は実の親が育てられない何らかの事情の影響を受けていて、一層手のかかる難しいように思われる処です。とても重要で大切な仕事ですが、また大変難しく熱意なくしては努まらない仕事だと思ひます。今日はどのようなお話が聞けるか楽しみです。

### ◆ゲスト

一般社団法人長野県児童福祉施設連盟会長  
つつじが丘学園園長 兼 児童家庭支援センターつつじセンター長 川瀬勝敏様 様

### ◆2月誕生日祝い



柴崎利雄・梅崎綾子・黒畑悦良・一色直樹・池上和明・高木文人 各会員

### ◆2月結婚記念日祝い

柴崎利雄・秦邦洋・山崎廣和 各会員

### ◆幹事報告

- 本日例会前 理事会開催  
前回の諏訪グループ会長幹事会にて 富士見ロータリークラブより会員数減少（14名 実質8名）のため現在7クラブで持ち周りのガバナー補佐選出・IM担当を外してほしいとの要望あり ご意見等ありましたら 幹事まで
- 2月7日 地区新入会員の集い 場所：塩尻市中信会館 3名出席（佐藤一樹会員・梅崎綾子会員 ディスカッションリーダー 山崎廣和会員）
- 3月23日（月）2クラブ合同例会 18：00受付 点鐘 18：30 ホスト：エコーRC ※出欠表（回覧）
- ガバナー月信2月号（回覧）
- 冊子 抜粋のつづり（配布）
- 2月9日 準法定休日 次回例会 2月16日 担当：国際奉仕委員会

### ◆委員会・同好会報告

- 《公共イメージ向上委員会》
- ロータリーの友 2月号紹介 P5～平和を願う言葉の記録「ある少年通信兵の沖繩戦」 P67友愛の広場
- ◆《ネパール視察について》 小野繁男会員
- 河西明年度にてネパール・デウクリー地区支援を終了。左近さんが今年10月の現地視察で終了。永年に渡ってクラブの国際奉仕事業として支援に関わってきたネパールへの旅行を企画 10月1日～7日 内2日間（デウクリー視察）企画 参加者募集 費用1名 426,000円 ※出欠表回覧

### ◆卓話

#### ◆「つつじが丘学園の現状と取組み」川瀬勝敏様

本日は今子供のめぐる状況、児童擁護施設の歴史的な部分についてでも少し触れ、皆さんに大枠のアウトライン、国のあるいは世界の流れも含めて少し感じていただける機会になればと思っております。先程、里親さんの話がありましたが、諏訪中央病院の鎌田ドクターも里子です。東京のタクシードライバーの夫婦に育てられて、今医師として働いています。また、安倍元首相の襲撃事件で逮捕された山上被告が「宗教虐待」と言われ、妹の供述で「早く児童養護施設に行けば良かった」と新聞の記事に



ありました。そういう状況、環境、その中で救ってあげる事は出来なかったのかと思いました。それでも児童擁護は色々な社会問題にも精通してきています。社会の中で生きていくうえでいろんな問題がおきてくるわけですが、特別な子供が特別な内容で使う施設なのかとは必ずしもそうでは無く、それがまさに虐待の増加と共に、結果的には孤立、一人の養育、環境がこういう事を引き起こしている社会問題だとすると、その逆をやらないといけないわけです。それが今始まっている子供食堂や皆で共生社会だとか いずれはそうになっていくと思いますがその前に皆さんと共に共有しながら、諏訪地域に一つしかないこの岡谷の施設を大切にしながら、子供を救うための活動に対してもご賛同いただけるように、ご協力をお願いしたいと思っております。

## ■虐待について

ここ20年以上右肩上がりに相談ケースが増え続けています。先日の信濃毎日新聞に約20万件と掲載されていました。児童相談所が電話を受けて動いたら1件 保育園、市役所で受けた相談は入りません。ですので実質はもっとも増えていきます。また現在 学校は連絡網が無い、家庭訪問無かったり玄関のみの訪問だったりしています。昔は訪問にて、また近所、学校の状況等ネットワークがあったため先生が家庭環境を把握できましたが、今はむずかしいです。スポーツや音楽ができる家庭はいいですが、そうでない子は、家でゲームやインターネットをやって、学校へ行っているか行っていないかしかないので、その家庭や家族がどうなっているかわからない潜在的な数字は入っていません。なので学校の先生や保育園の先生も家庭の問題、虐待の問題があったら絶対言うべきだと言います。虐待は二人あるいは一人での養育状況から、孤立化と同じになるので起こりやすいと考えます。児童人口が減っているのに、虐待の相談件数は下がっていないという事は割合は増えているということを理解して頂きたいです。

今は里親さんは国でも推進していますのでもう少し増えて欲しいと思います。その中でも何らかの障害のある子供を育てるのがむずかしいということも実際にはあります。むずかしい子供達は児童擁護施設は基本的には受け入れやすいのですが、里親さんも二人に一人は障害を持っている子供を受けるといいうことについての覚悟も分かって頂ければと思います。全国的には 各10年間の里親の委託率は1.6倍、児童擁護施設の入所は2割減と言っていますが実際は減っていません。地域的背景もありますが つつじが丘学園の子供の数も10年前と比べて減っていません。

相談ケース20万件のうち実際施設で生活できる子は2.1%です。その間にある一時保護は13%ですので、100件相談して施設を利用出来る子は2人、残り98人は相談しても家に帰されているのが現状です。結局 相談した人が何の支援もなくそのままその子供を見なければいけない状況です。法律もありますがつつじが丘学園は措置なのでいわゆる行政処分です。県知事がハンコを押してこの子供を家庭と離します。したがって国費、つまり食べ物、衣料すべて税金でみる形になるので、本当にどうしようもなくなった状態を確認できてから、つつじが丘学園に来るんです。今も昔も同じです。けどそれでは遅いんです。例えば障害が7割でも、もっと虐待の傷だったり、あるいは貧困だったり、勉強に行けたのに行けない状態を、行政やその制度が長く長く続けさせておいてダメになったら、もう無理だねって言って学園に来るんです。国の見方は地域(市町村)でやって下さいというのですが市町村にそんな力があるかということです。そうするとそこにも引かかる事が無い家族が地域の中で声もあげずに存在しつつ、じわじわその割合が高まっている状況があります。

来年度、富士見町で小さなつつじが丘学園をつくらうという事もあるので、皆さんに応援していただきたいと思っております。イギリスと日本を比べると日本の人口はイギリスの

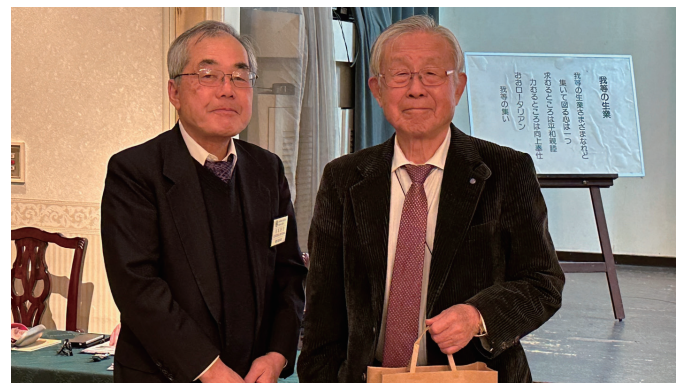
倍、保護する児童数は半分、児童数1万人あたりで保護する子供の割合はアメリカ65、イギリス55、日本17。生活スタイルが欧米化して、女性も仕事をしている中において、日本だけがこんなに差があるわけがないんです。制度、政策あるいは文化的のもので相当無理が生じていると思います。施設が多いことが悪いことではなく、そういう子供達がどう社会の中でより良い育ちをしていくのか、あるいは背景にある親を支援していくのか、児童福祉や家族福祉をやっていかなければ行けないということをもっともっと一般的な先進国の中でスタンダードになって欲しいと思います。

## ■つつじが丘学園の状況

- 1月入所状況 入所者39人 (男27 女12)  
 内訳 3歳未満1人 (男1) / 保育園6人 (男3 女3) / 小学生低学年6人 (男6) / 小学生高学年7人 (男7) / 中学生5人 (男3 女2) / 高校生14人 (男7 女7)
- ・中学生、高校生で2分の1 昔の塩嶺学園の頃はほとんどが幼児と小学生。また男性の割合が多い
  - ・離婚した場合 母親の親権が6割 単身家庭の場合 虐待的な関係になりやすい。
  - ・親が親としての資質や力がなくなっている。それは特別な事ではない。
  - ・虐待は2、3歳から始まって、本当に困って最後に学園に来るまでの受けた心や体の傷や言葉は消えないくらい残っている。大人になった時、いざとなると子供に同じようにしてしまう。だから虐待が減らない。その問題の深さと大きさと怖さをもっと周りが知るべきだと思う。

現在 我々の体験を含めて全国的に注目されています。来年度は富士見町で小さなつつじが丘学園をつくらうとしています。そちらも応援していただけたらと思っています。岡谷を中心に さすが岡谷市にある施設はと言ってもらえるように、さらに発展、発信していきたいと思っていますので引き続き ご協力、応援を宜しくお願いいたします。

## ■寄付金授与



## ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

- ラッキー No.91 宮坂 勝彦会員 ニコニコするメッセージをお寄せ下さい
- ニコニコBOX 42,000円
- 出席報告  
 会員数 49名 出席 31名 欠席 18名  
 出席率 63.2% 前々回訂正 65.3%

今週のプログラム 2月16日(月) PM0:30  
 マリオ/卓話 横山景星様: 国際奉仕委員会

次週のプログラム 2月22日(日) PM1:00  
 ホテル紅や/IM ホスト: 諏訪大社RC